

平成30年度 学校教育目標及び学校経営方針

教育目標

「豊かな人間性と未来を創造する生徒の育成」
～輝き合い、育ち合う、魅力あふれるコミュニティ・スクール～

目指す子ども像

「夢や希望をもって、よりよい生き方を考え、行動できる生徒」

- (1) 自他を大切に思いやる豊かな心を持つ生徒 <自尊感情>
- (2) 目標を持ち自ら学ぶ意欲に満ちた生徒 <学力向上>
- (3) ルールを守り正しく判断し、行動できる生徒 <規範意識>
- (4) 集団の中で支え合い、磨き合い、高め合う生徒 <人間関係>
- (5) 国際的に広い視野に立って行動できる生徒 <ボランティア>

目指す教職員像

京都御池中学校の教職員としての「情熱」「使命感」「誇り」をもち、「チーム京都御池」の一員として教育実践できる教職員

- (1) 自己の資質や能力・力量を高めるための努力を怠らない教職員
- (2) 教職員相互が互いの立場を理解し、助け合い、時には厳しく指摘し合うことのできる教職員
- (3) 「チーム京都御池」の総合力の強化を図り、個性を活かしながらチームワークある教職員

目指す学校像

「笑顔 (smile)」 : みんなが笑顔いっぱいいでいられる学校

「輝き (shine)」 : みんなが輝ける学校

「協力・協働 (scrum)」 : みんなが力を合わせて取り組める学校

学校経営方針

明治2年に誕生した番組小学校（本校は日本最初の小学校といわれている）の流れをくみながら、地域の方々の大きな英断により、幾度かの統合を経験してきた本校は、大きく4つの特色（京都御池中学校の宝物でもある）を持つ学校である。この特色は他校には見られないものであり、この4つの特色を最大限活かした教育活動を実践していくことが京都御池中学校の目指す「質の高い教育」へつながるものと考えている。

1つ目は、平成16年に立ち上げた「けやきプロジェクト（学校運営協議会）」の設置である。5つの中学校が統合を繰り返し誕生した学校であり、その経緯から地域の方々の学校や子どもの教育に対する思いや願いを真正面から受け止め、学校経営や教育実践に活かしていくことである。

2つ目は、平成19年より本格実施した「OGTプロジェクト（小中一貫教育5－4制）」である。校下にある御所南小・高倉小の6年生が本校の京都御池創生館で学んでおり、2小学校と本校で施設併用型の5－4制における小中一貫教育を実施し質の高い教育を提供することである。今年度からは、4月に開校した御所東小学校を加え、1中3小の枠組みによる小中一貫教育として再スタートしている。（名称をOGGTプロジェクトと変更）開校間もない御所東小学校の6年生の思いを受け止めながら、しばらくは週の内、3日程度の中学校校舎への登校とし、徐々に取組を進めていきたいと考えている。

3つ目は、「読解力の育成は学力向上の基盤である。」という視点のもと、教科・領域ではもちろんのこと、中学校では総合的な学習の時間の一部に「読解の時間」を設定し（3学年とも10時間）、児童生徒の学力向上を目指し、小学校1年から中学校3年までの9年間を見通して読解力の育成に取り組んでいることである。具体的には読解力育成のための必要な力として、「課題設定力」「情報活用力」「記述力」「コミュニケーション力」の4つの力を互いに関連させながら読解力を育成していくことである。この取組により授業改善・工夫を図り、さらに質の高い教育が提供できるものと考えており、一定の成果を上げてきていていると捉えている。

4つ目は、「京都御池創生館（多世代交流の複合施設）」の活用である。御池あした保育園や老人デイサービスセンター、商業施設などがあり、その中で生活するすべての人々を「御池ファミリー」と呼び、様々な学校行事や普段の学校生活において、自然な姿で多世代交流が進められ、豊かな心の育成に大きく関わっているものと捉えている。

OGGTが唱える「未来に輝く小中一貫コミュニティ・スクールの創造」という小中一貫教育目標の実現に向けて、さらには21世紀型の教育として全国に発信できる学校力（OGGT）をしっかりとつけていかなくてはならないと考えている。

平成30年1月に「第12回小中一貫教育全国サミット in 京都」が開催され、京都御池中学校ブロックとして授業公開の機会をいただいた。この経験が発表に向けてあらためてこれまでの授業の振り返りを行ったり、質の高い教育とは何かと自答したりと、教職員の良き研修につながったのではないかと考えている。また、4月にした御所東小学校を含めた4校による小中一貫教育（OGGT）をスムーズに発進していくために、4校の校長間の連携をより確かなものとし、4校の組織として運営できるよう取組を推進していきたいと考えている。